



ゆずりは

今のフレッシュな気持ちを大切にスタートです

校長 吉田伸吾

今年は、こここのところの暖かさのため校内のサクラの花は残念ながらほぼ散ってしまい、今はほとんど葉桜になってしまいました。こうした中で西小、平成 30 年度の始業式、そして入学式を迎えました。サクラの花はないけど、それも平成 30 年 4 月の思い出として、私たちの心に残っていくのだと思います。

こうして平成 30 年度が始まりました。本校校長 2 年目の吉田伸吾です。今は昨年度のことを振り返りながら、「今度はあんな方策はどうだろう」「こんな仕掛けもできるな」と今年度 1 年間を考えて、ワクワクした気持ちでいっぱいです。

さて初めに、今年度の教育活動のより所「学校教育目標」についてです。本校開校 46 年目、今までの保護者や地域の方々、そして教職員諸先輩方の思いを継承して今年度も次のとおり変更はありません。

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる西小っ子の育成

「進んで学ぶ子」 「思いやりのある子」 「たくましい子」

そして、今年度の重点についてですが、始業式の中で本校の子供たちに対して「西小児童・今年度のメインテーマ」と「3つのがんばりポイント」として、次のように伝えました。

西小児童・今年度のメインテーマ

「もっとできる！西小っ子」

3つのがんばりポイント

① 真心をこめた「あいさつ」

・昨年度もあいさつを重点にしてきました。保護者アンケートでは「以前よりできるようになってきた」という評価をいただきましたが、「できる子」「できない子」の差が目立ったり、「相手の目を見て」ということができなかつたりしました。なぜあいさつが必要なのかに立ち返り、誰もが真心をこめたあいさつを「もっとできる」ようになってほしいと思っています。

② 無言で「清掃」

・本校、南小、そして北本中の 3 校の共同研究である「学校 4・3・2 制」において、小中共通で取り組んでいる「無言清掃」。自分たちの生活する場所を「もっときれいにできる」という気持ちで、全校で取り組んでほしいと願っています。

③ ゆずり葉の詩の「暗唱」

・昨年度、詩の暗唱の達成者は 362 人。実に率にして 59.6%。およそ 5 人に 3 人の人が暗唱できたということです。とても素晴らしいことです。でも西小の子なら「もっとできる」はず。したがって今年もやります。題して「ゆずりはチャレンジ 2018」。昨年度以上の達成者が出ることを期待しています。

子供たちの中に見え隠れする「やる気」を引き出すために、西小教職員一丸となって教育活動に邁進してまいります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

校木「ゆずり葉」が生まれ変わりました

去る 3 月 19 日（月）、卒業を目前に控えた前 6 年生の立ち会いの下、枯れてしまった先代の「ゆずり葉」の木に替わって、PTA より寄贈していただいた新たな苗木を西小サポーターさんたちのご協力を得ながら、植樹することができました。

新しい苗木は、まだか細く頼りなさそうですが、これから西小の子供たちの成長とともに、また新たな伝統の積み重ねとともに大きく育ててほしいと願っています。

